

<p>特定テーマ②</p>	<p>機能的で親しみのある庁舎          窓口機能の強化や高齢者等への配慮、ユニバーサルデザインの導入など、高機能で誰もが利用しやすい庁舎</p>
---------------	---

# 開放的でわかりやすい、みんなにやさしい庁舎

## ひと目で見渡せる明快でコンパクトな庁舎

### 町民利用機能を1階にまとめて配置

- 町民利用窓口、保健センター、子育て支援センターを1階に配置し、町民サービスをワンフロアで完結します。
- 2階には執行部門と議場・議会関係室を配置した専門的な執務フロアとし、来庁者動線を階で明快に区分します。

### 見通しのよいワンフロア窓口と町民利用ゾーン

- 玄関から入るとすぐに、町民利用窓口全体が一望できる明快でわかりやすい構成とします。
- 窓口の向かい側には、町民のための利便機能を集めた「町民プラザ」を配置し、町民ファーストの庁舎とします。

### 横断的に利用できる3つの複合機能

- 庁舎、保健センター、子育て支援センターの出入口を1か所に集約したわかりやすい動線計画とします。
- 3施設の関連窓口や町民利用機能を連続的に配置し、相乗的な利便性や連携が生まれる健康拠点をつくります。

## 町民目線の利用しやすい窓口

### ワンフロアサービス

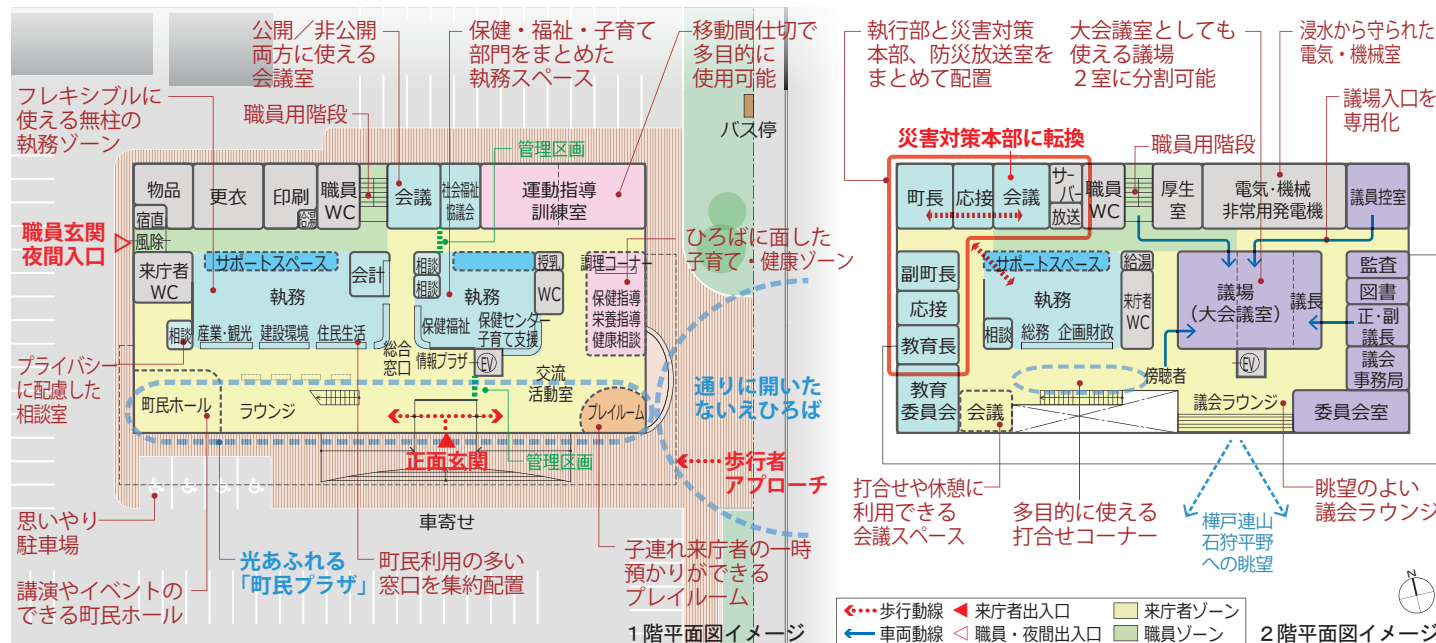
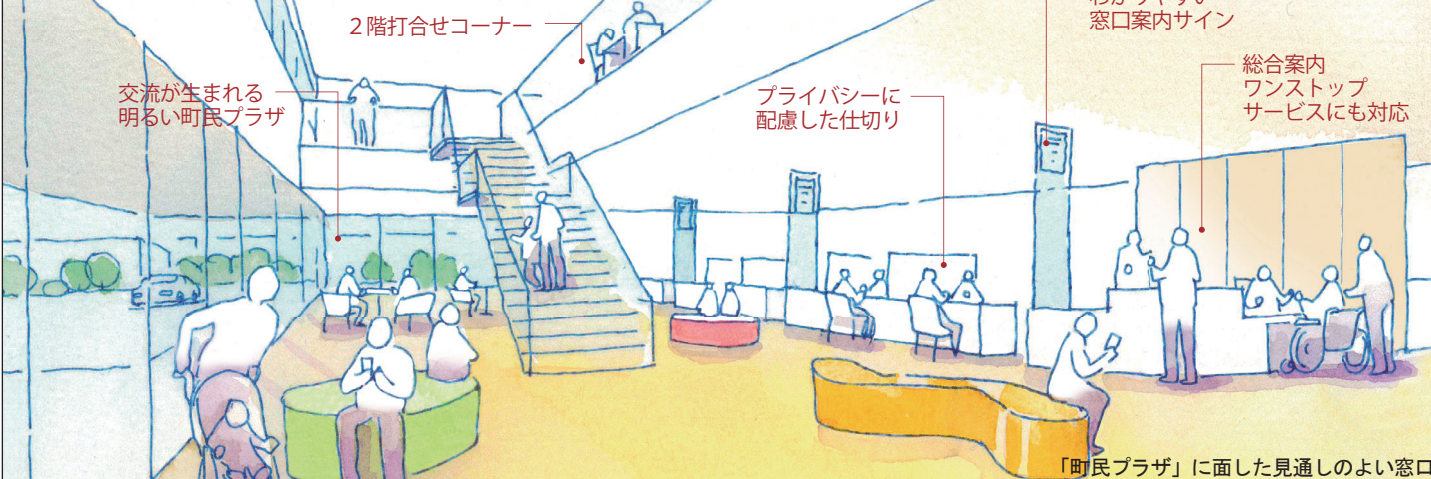
- 町民利用窓口を1階に集約したワンフロアサービスを基本とし、案内表示が一望できるわかりやすい窓口とします。
- 高齢者や体の不自由な方、案内が必要な方のために、総合窓口やワンストップサービスを併用します。

### 利用者の目線に立った計画

- オープンな窓口、ゆとりある待合、仕切りのあるカウンター、個別相談室を用意し、相談内容に応じて使い分けのできるプライバシーに配慮した計画とします。

### 選べる居場所

- オープンな窓口、ゆとりある待合、窓口カウンター前のベンチのほか、丸テーブルのラウンジや情報コーナーなど、隣接する機能を横断して思い思いの場所で過ごすことができます。



## 多機能で開かれた議会エリア

### 開かれた議会と独立性の両立

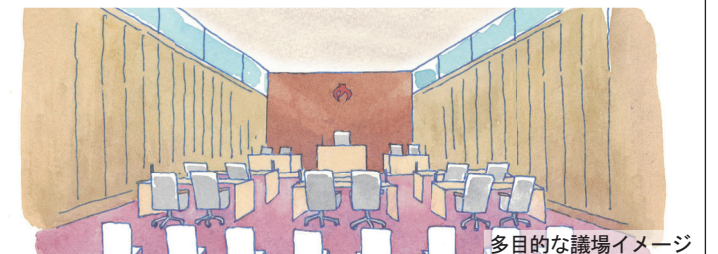
- 議会エリアへは、正面玄関近くに配置したエレベーターと階段から他の部門を通らずにアクセス可能とします。

### 多目的に利用できる平土間の議場

- 可動家具で構成した平土間の議場は、大会議室やミニコンサートなど多目的に利用可能です。

### まちと石狩平野を眺める議会ラウンジとテラス

- 奈井江のまち、樺戸連山、石狩平野が見通せる南側に議会ラウンジを配置し、中継モニターや閲覧資料などを設置し、議会を身近に感じる場所となります。



## 開放的で多目的な町民利用エリア

### 明るくオープンな「町民プラザ」

- 明るく風通しのよい庁舎南側に、待合ラウンジ・市民ホール・情報プラザ・交流活動室やプレイルームなど、町民のための機能を集めた「町民プラザ」を提案します。
- 「町民プラザ」は、待合や休憩だけではなく様々な町民活動や交流を促す、新たな町民の居場所となります。

### 町民参加そのものが町の魅力発信となるしかけ

- 市民ホールは講演や交流会などの公開イベントの開催のほか、選挙の期日前投票所、確定申告など多目的に活用できる町民参加の場となります。
- 情報プラザでは町政情報や議会情報、暮らしや観光など、奈井江に関する様々な情報と魅力を発信します。

## 使いやすいフレキシブルな執務エリア

### オープンでまとまりのある執務スペース

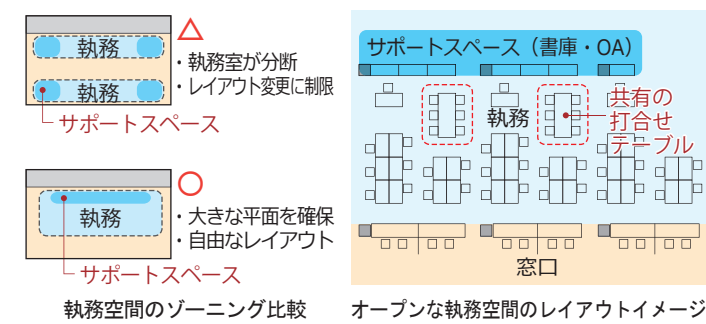
- 柱や間仕切りのないオープンフロアの執務スペースを、各階中央に集約して配置します。
- 広く見通しのよい執務空間は、部門間の連携や交流を促進し、利用者にとってもわかりやすい構成となります。
- 職員の打合せテーブルを共有で利用することや、収納棚で部門間を仕切るなど、様々なレイアウトに対応できるフレキシブルな執務空間をつくります。

### サポートスペースを近接させた機能的な執務環境

- 書庫や機器置場などを集約して執務空間の背面に配置し、効率的な業務をサポートします。
- 印刷室や給湯室、職員トイレなどのバックヤード機能や会議室を北側に集約し、隣接する階段を含めた職員動線を明確に区分してセキュリティを高めます。

### 将来の業務形態の変化に対応

- 将来の組織改編や、行政サービス・業務形態の変化に柔軟に対応できるよう、乾式間仕切壁やOAフロアなど自由度の高い空間・設備システムを採用します。



## 子育て支援センター・保健センターと連携

### 保健・福祉・子育て支援部門の連携による「やさしい」庁舎

- 関連部門の一体配置により円滑な連携を可能とすると共に、プレイルームや授乳室を誰もが利用可能にするなど、利便性と面積の効率化を両立する庁舎とします。

### 単独でも利用できる子育て支援センター

- 可動式の管理区画を設けて正面玄関や共用部を区画し、週末などの役場閉庁時にもエリア単独開館を可能とします。

## 誰もが安心して利用できるこれからの庁舎

### バリアフリーに配慮した思いやり庁舎

- 段差のない床、正面玄関近くにエレベーターや車いす用カウンターを設置するなど、高齢者や車いす利用者に配慮したやさしい庁舎とします。
- わかりやすい空間構成や案内サイン、誰でもトイレなどユニバーサルデザインを各所に導入します。

### 安心・快適に過ごすことができる健康的な庁舎

- 【空間のゆとり】関連機能を集約したオープンフロアとすることで面積効率を上げ、人の密集を避ける空間的ゆとりを生み出します。
- 【清浄な空気】換気窓を効果的に配置して、効率よく外気を導入し、自然換気と共に季節を感じる庁舎とします。
- 【清潔を保つ】清掃しやすい形状、抗菌性仕上材の採用、手洗いコーナーを各所に配置すること等を検討します。
- 【選べる対面方法】奥行の大きいカウンターや衝立の検討、ラウンジ・打合せコーナーなどから状況に応じて居場所を選択できる計画とします。